

N o	事業名	事業概要	総事業費	国、県等補助額	交付金充当	村負担	事業開始年月日	事業完了年月日	事業の効果等
1	情報通信基盤運営事業	①職員の感染拡大防止と業務継続体制を強化するため、テレワーク環境導入に関する機器購入経費（暗号化ソフト込み）及び分散勤務構築のための機器整備する。	7,708	0	6,045	1,663	R2.9	R3.9	テレワークの環境整備により、庁舎内での感染者が発生したときの感染リスクを軽減し分散業務等が可能となった。
2	遠隔授業環境整備事業	①学校臨時休業時、児童生徒の学力低下を防止するため、オンライン授業の実施体制の充実を図る。 ②遠隔授業実施体制整備のため、遠隔授業用PC、児童生徒用WIFIルーター、遠隔授業用タブレット、遠隔授業用電子黒板等を購入する。	8,940	0	8,939	1	R3.2	R3.6	オンラインによる授業を実施する事で、コロナ禍における児童生徒の多様な学習機会の確保の一助とすることができた。
3	事業者支援・地域振興事業	①買い物券又は村産品の発送を通じ、村民の家計負担の軽減と事業者支援を図るとともに、村産品の普及や原発事故における村外避難者のふるさとを想う気持ちの醸成にもつなげる。 ②村民に対して一人当たり2万円の事業者で利用できる買い物券又は村産品を送付する。	28,078	0	28,077	1	R3.3	R4.3	買物券の発行や村産品の発送により、家計負担の軽減や事業者支援が図られた。
4	公共的空間安全・安心確保事業	①感染症防止のため、公共施設等の手洗い蛇口を非接触型センサー式に改修及び幼稚園・小学校を対象に一部温水が利用できるように改修する。	8,250	0	8,250	0	R3.3	R3.12	公共施設等の手洗い蛇口を非接触型センサー式に改修したことで感染拡大防止に効果的であった。
5	公共的空間等感染症予防対策事業	①公的空間にウィルスを蔓延させないために、来客者の検温や窓口等での飛沫等による感染リスクを低減させる取り組みを行う。 ②来訪者の感染症対策のため、仕切りパーティション等の設置や、予防資機材の導入及び感染症発症時の対策経費並びに資機材を購入する。	2,821	0	2,658	163	R3.4	R4.3	村内の施設に非接触式体温計、サーモグラフィやアクリル板等を設置したことで感染拡大防止に効果的であった。
6	学校安全・安心確保事業	①子ども達が安心して学校生活を営めるよう、来校者の検温や飛沫等による感染リスクを低減させる取り組みを行う。 ②来校者・児童生徒用の非接触体温計、校内消毒用品、飛散防止用マスク・手指消毒剤等を購入する。	3,498	0	3,498	0	R3.4	R4.3	教育施設に感染予防資機材等を設置したことで感染拡大防止に効果的であった。
7	学校保健特別対策事業費補助金	①学校の教育活動継続に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品等を購入する。 ②サーマルカメラ、パーティション、消毒資機材等の購入。	813	400	400	13	R3.4	R4.3	教育施設にA I顔認証機能付きサーマルカメラや非接触型消毒供給装置等を設置したことで感染拡大防止に効果的であった。
8	コロナウイルス感染症対策事業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施する商工会加盟事業者に対し、抗原検査キットを支給し早期に感染者を発見することによりクラスターの発生を防ぐ。 ②抗原検査キットを購入し、事業者に支給する。	1,089	0	1,089	0	R3.10	R3.12	商工会加盟事業者に抗原検査キットを配布し、感染者を早期に発見したことで感染拡大防止に効果的であった。
9	農業経営持続化支援事業交付金	①コロナの影響による食用米の価格変動を調整するため飼料米へ転換した農家との差分を支援する。 ②飼料米へ転換した農家との均衡を図るため、その差分未満を支援目的とし、作付面積から自家保有米10aを差し引き、残りの面積に飼料米との差分である10a当たり12,000円を支援する。	3,059	0	3,058	1	R4.1	R4.3	対象農家を補助したことで、事業継続の一助となった。
10	公共的空間等感染症予防対策事業	①公的空間にウィルスを蔓延させないために、来客者の検温や窓口等での飛沫等による感染リスクを低減させる取り組みを行う。 ②来訪者の感染症対策のため、仕切りパーティション等の設置や、予防資機材の導入及び感染症発症時の対策経費並びに資機材を購入する。	281	0	278	3	R3.4	R4.3	村内の施設にアクリル板や感染予防資材等を設置したことで感染拡大防止に効果的であった。